

新潟県納税貯蓄組合総連合会優秀賞

税と生活とのバランス

長岡市立越路中学校

三年 関 亜佑里

税と一言で表しても、沢山の種類があります。消費税、所得税、法人税、他にも様々な税があります。私たち中学生にとって一番身近な税は消費税でしょう。消費税は支出に対し決められた比率分払うというしくみなので、どんな人にも公平な税なのかもしれません。しかし私たちには収入はなく、少ないおこづかいから税金も出ているということに少なからずモヤつとした気持ちになります。しかも二〇一九年には消費税は八パーセントから、十パーセントになっています。そもそもなぜ消費税は引き上げられたのか。私は理由を知りません。私は疑問に思うようになりました。

理由としては、主に年金や社会保障の財源確保のためだそうです。社会保障は社会全体で助け合おうとする仕組みですがその費用は基本的に保険料でまかなわれています。しかしそれでは働く人に負担が集中してしまいます。少子高齢化に伴い、社会保障費が増え続ける中、お金は足りず、税金や国債に頼る部分

が増えていました。安定的な財源を確保するために消費税は引き上げられたそうです。なるほど、と思いました。「税が引き上げられるのは使い道に問題があるのかな」と思っていました。時代の変化に合わせて税も変化していくとわかりました。公平性と国の安定のためにも引き上げは必要だったのだと思いました。

しかし調べていくうちにデメリットもあるとわかりました。消費税が上がれば今まで買えていた金額より高くなり、買わなくなる人が増えます。物が売れないと会社は儲からず、社員の給料は下がります。そして、所得税や法人税は、会社が儲かり、社員の給料が上がるなどして増えるものです。消費税が増えることで他の税の収入が減り、国の収入が減ってしまう可能性があるということなんです。たしかに、私も物を買うのを控えることがあります。私一人が躊躇ったところで、という感じもしますが、買うことを控えることによる影響なんて考えたことありませんでした。

国のためにも消費税を増やすのも納得できませんし、物が高くなり、結果他の税金の収入が減ってしまうのも理解できません。私は消費税が増えてよかったのかどうかはわかりません。ただ、バランスが大事だと思いました。まだまだ税について知らないことばかりなので、もっと税のことを知り、自分なりの意見がもてるようになろうと思います。そして、国には、私たちのこれからの生活がよりよいものになるような税のしくみ、社会のしくみを築いてくれることを期待しています。